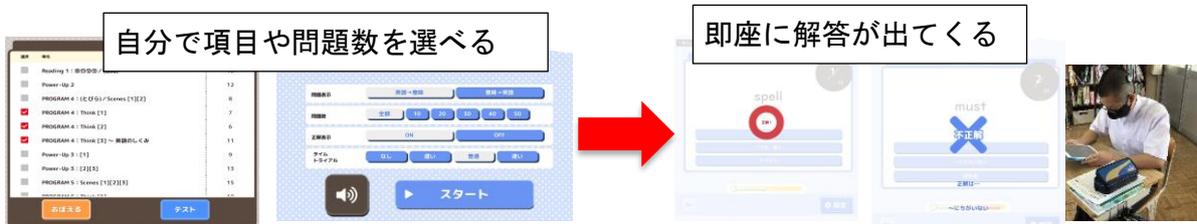


## 1人1台端末の活用による、日常生活の質を向上させる実践事例

学校名	岡山県立岡山聾学校	指導者名	森岡 由梨
実践場面 (教科名)	外国語(英語)	単元・題材名	英語でコミュニケーションを取ろう
学習目標・ねらい	・ 正確に音声情報を読み取り、内容を理解しよう。		
対象児童生徒の実態	聴覚部門 中学部 3年		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語の発音から正しく英単語を認識することが難しい。手話や指文字は内容の把握には有効だが、英文の正確な読み書きには有効ではない。</li> <li>・ 日本語の獲得語彙が少ないため言葉の理解に困難さがある。また、自分の住んでいる地域以外についての関心が少ない。</li> <li>・ タブレット操作は、他教科でも使用しているため慣れている。</li> </ul>		
活用の概要			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット端末で英単語の確認テストを行ったり、新しい文法の語順を確認する教材を活用したりして、授業の始めに前時の復習を毎時間行った。</li> </ul>			
			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アプリ「UD トーク」を活用して、話している文字を表示させた。聴こえにくい生徒が苦手とする「発音から英単語が想像しにくい部分」(例えば、ハローは“Hallo”ではなく“Hello”)も視覚的に確認することができ、聞き逃しても画面に表示されているものを後で確認できた。</li> </ul>			
			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国の文化や歴史に関する調べ学習において、デジタル教科書の字幕付き動画やタブレット端末を活用した。</li> </ul>			
			
成果や活用のポイント ・ 課題、改善点等	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴力を補完するものとして「UD トーク」を活用することで視覚的に正確な英文を捉えることができるようになったため、生徒の単語や文を正確に書く力が向上し、言葉の習得につながった。</li> <li>・ タブレット端末を活用することで、個々の理解度やペースに合わせて復習したい内容を自由に選んで学習することができた。また、英単語の確認テストは、クイズ感覚で取り掛かりやすい仕組みとしたことで、意欲的に取り組む生徒が増えた。</li> <li>・ タブレット端末を活用した調べ学習により、題材の背景にある外国の文化や歴史などを知ることで、英文の理解が深まった。また、毎日の生活の中ですぐにタブレット端末で分からないことを調べる生徒が増えた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「UD トーク」で誤変換が生じた場合には、その都度正しいスペルを確認する必要がある。</li> </ul>		